

# 会 議 録

会議の名称	小金井市地域公共交通会議
事務局	都市整備部交通対策課
開催日時	平成21年11月19日(木) 午後3時～5時
開催場所	801会議室(市役所第2庁舎8階)
出席者	小金井市地域公共交通会議委員及び事務局職員 (別添名簿のとおり)
傍聴の可否	可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	小金井市地域公共交通会議設置要綱第5条第8項の規程による。
会議次第	<p>1 あいさつ 都市整備部長 大矢 光雄</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 委員の紹介</p> <p>4 市事務局の紹介</p> <p>5 議題 (1) 会長・副会長の選出 (2) 小金井市コミュニティバスの経過について (3) 野川・七軒家循環について (4) その他</p>
会議結果	次回会議で、野川・七軒家循環の本運行に向けた「同意」について審議する。
発言内容・ 発言者名(主な 発言要旨)	<p>A委員 北東部循環の特徴は何か。 市 利用人数の多さが特徴である。</p> <p>A委員 沿線の人口密度の変化について聞かせてほしい。 市 特に変化はない。</p> <p>B委員 各路線の利用者の増減について聞かせてほしい。</p>

<p>発言内容・ 発言者名（主 な発言要旨）</p>	市	JR 武蔵小金井駅南口再開発に伴う停留所の移動により、貫井前原循環、中町循環、野川・七軒家循環の増加が著しい。他路線は例年の水準である。
	C 委員	北東部循環の月別利用者数の変化について聞かせてほしい。
	市	北東部循環の場合は通勤・通学によく使われるため、年間を通じてほぼ同水準である。
	D 委員	北東部循環に関して、通勤・通学の時間帯にバスを増便した経緯は何か。
	市	導入当初は対象としていなかった通勤・通学の時間帯の人を含めて、あらゆる人の外出の機会を確保するためである。
	E 委員	試験運行と本運行の違いについて教えてほしい。
	市	C o C o バス・ミニの運行事業者は、タクシー業者であるため、乗合バスの免許を所有していない。このため、期間を定めて試験運行を行い、その間に免許を所得し、本運行に移行する考えである。
	F 委員	とにかく路線を増やして、市民の要望に応じてほしい。
	市	市の理念としては、コミュニティバスはただ利便性を求めるだけではないと考えている。
	E 委員	野川・七軒家循環の積み残しについて、市の見解を答えてほしい。
	市	本運行に向けて、解決策を見出さなければいけないと考えている。
	E 委員	運行事業者は赤字路線を抱えて、利益が出るのか。
	市	赤字額に対して、市では補助金を負担するため、損はしない。
	B 委員	北東部循環の利益は、どのように取り扱っているのか。
市	市と運行事業者で折半する。	
F 委員	北東部循環を2路線に分けてほしい。	
市	路線の編成については、平成22年度の意向調査で検討する予定である。	
E 委員	無料で乗れる人はいるか。	
市	未就学児のみ無料で、シルバーパス等のご利用はで	

	<p>きない。</p> <p>E委員 乗り継ぎはできるか。 市 乗り継ぎの場合、対応する運転手の負担が増えるため行っていない。</p> <p>B委員 車両の購入は、市または運行事業者のどちらで購入しているのか。 市 運行事業者が一括で購入した。</p> <p>C委員 狭隘な地域に対して、道路の拡幅はできないのか。 市 土地の買い上げは、財政面を含めて難しい。</p>
提出資料	<p>(1)小金井市コミュニティバスの経過 (2)C o C oバス、C o C oバス・ミニ年度別収支表 (3)C o C oバス、C o C oバス・ミニの利用状況 (4)小金井市地域公共交通会議設置要綱 (5)小金井市地域公共交通会議委員名簿 (6)C o C oバスパンフレット</p>
その他	<p>次回、市内のバス路線図をまとめた市域の地図を資料として提出する。</p>